

U.S. Indicators

米国 投資減税終了を控え機械設備投資は加速へ（13年11月耐久財受注・出荷）

発表日：2013年12月25日（水）

～耐久財部門の拡大ペース加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

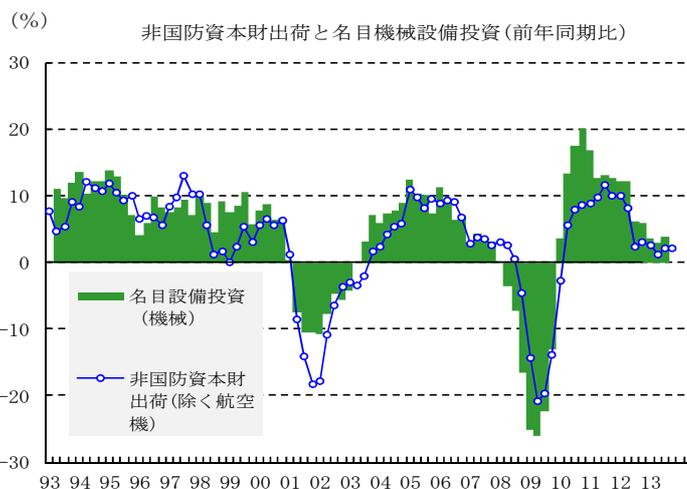
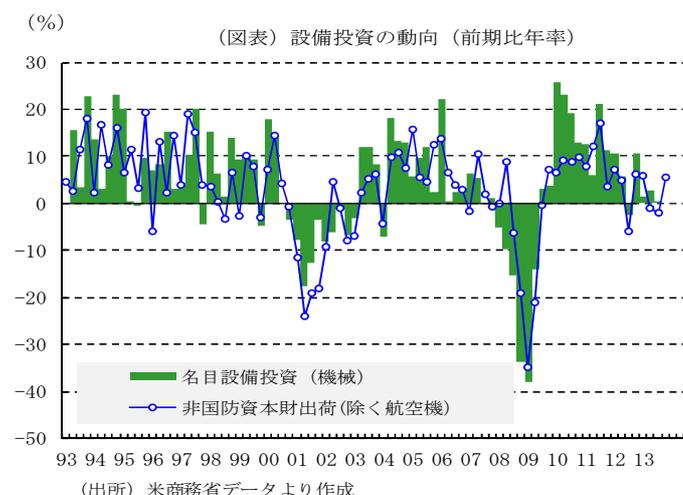
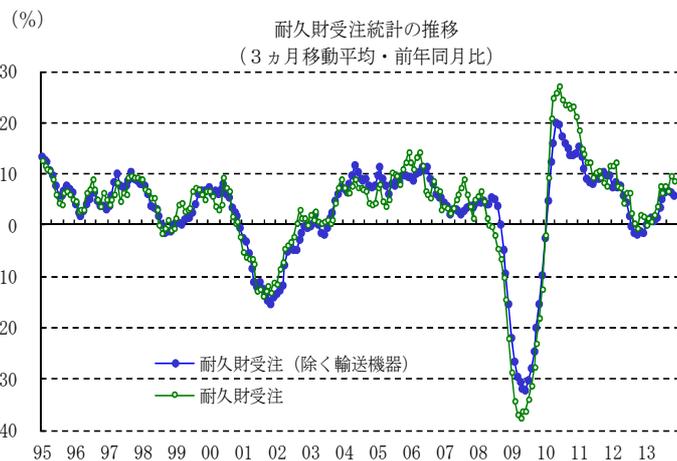
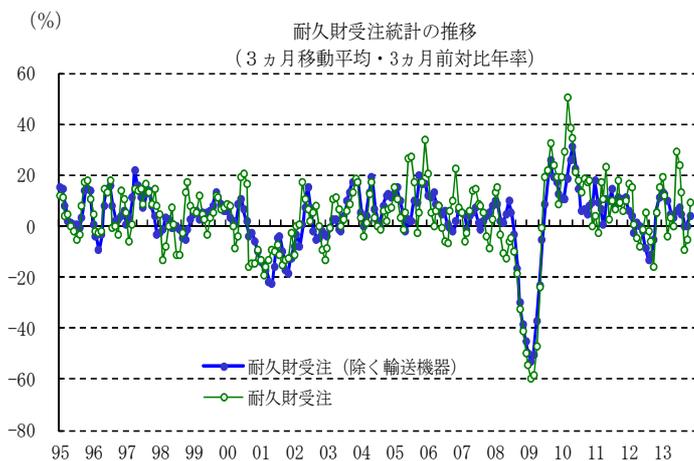
03-5221-5001

	出荷				耐久財受注				在庫			
	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く航空機
13/02	+0.7	+0.4	(+2.0)	+1.6	+6.4	▲0.2	(+1.7)	▲4.8	+0.4	▲0.1	▲0.3	
13/03	+0.9	+0.1	(+1.7)	+0.6	▲5.9	▲1.6	(▲0.8)	+1.1	▲0.1	▲0.2	▲0.3	
13/04	▲0.6	▲0.4	(+1.2)	▲2.1	+3.6	+1.8	(+1.5)	+1.2	+0.2	▲0.2	▲0.2	
13/05	+1.3	+0.3	(+0.4)	+2.0	+5.5	+1.3	(+3.5)	+2.1	▲0.1	▲0.0	▲0.1	
13/06	▲0.1	+0.1	(+1.3)	▲1.0	+3.9	+0.1	(+5.3)	+1.1	+0.1	+0.0	▲0.2	
13/07	▲0.1	▲0.0	(+1.1)	▲1.4	▲8.1	▲0.5	(+6.0)	▲3.5	+0.3	+0.2	+0.1	
13/08	+1.0	+0.7	(+2.8)	+1.4	+0.5	▲0.1	(+7.6)	+1.0	+0.1	+0.0	▲0.2	
13/09	+0.5	+0.6	(+3.1)	▲0.1	+4.2	+0.3	(+6.4)	▲1.2	+0.8	+0.5	+0.3	
13/10	+0.6	+0.1	(+2.8)	▲0.4	▲0.7	+0.7	(+5.2)	▲0.7	+0.3	▲0.0	▲0.0	
13/11	+1.8	+1.6	(+3.7)	+2.8	+3.5	+1.2	(+6.1)	+4.5	+0.3	+0.3	+0.0	

11月の耐久財受注は、輸送機器などの拡大によって前月比+3.5%（10月同▲0.7%）と増加に転じ、市場予想の同+2.0%を上回った。また、変動の大きい輸送機器を除いた耐久財受注は、一般機械、加工金属、コンピューター・電気製品の増加を背景に同+1.2%（10月同+0.7%）と加速し、市場予想の同+0.7%を上回った。輸送機器を除いた耐久財受注は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+3.8%（10月+0.1%）と小幅加速しており、米国内の自動車部門や住宅部門の堅調持続のほか、世界的な需要の持ち直しを映じて、耐久財受注は拡大モメンタムをやや強めている。

機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は11月に前月比+2.8%（10月同▲0.4%）と市場予想の同+1.0%を上回って拡大した。13年末の投資減税終了を控え、10、11月平均では7～9月期比年率+5.6%と7～9月期の前期比年率▲2.1%から増加に転じており、10～12月期の機械設備投資は前期比年率で7～9月期の同+0.2%から加速すると見込まれる。

さらに、機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、前月比+4.5%（10月同▲0.7%）と増加に転じ市場予想の前月比+0.7%を上回った。10、11月平均では7～9月期比年率+4.3%と7～9月期の前期比年率▲7.1%から増加していることから、駆け込みの反動による機械設備投資の大幅な下振れ回避を示唆している。



11月の業種別の受注動向をみると、一次金属、電子機器関連が減少した一方、コンピューター・電気製品、加工金属、輸送機器が増加したほか、一般機械は加速した。

一次金属は、アルミニウム、銅などの価格下落等の影響により減少したものの、自動車などの需要が強いため一時的な動きと考えられる。電子機器関連は、価格競争圧力や秋口にかけての住宅着工件数の足踏み等による電気設備、家庭用機器の需要鈍化等を背景に、前月比▲1.2%（10月同+3.6%）と減少した。

一方で、情報化投資関連での駆け込み効果もあり、コンピューター・電気製品では、通信設備が前月比+13.0%（10月同+0.4%）、コンピューター・同関連製品が同+5.3%（同▲8.8%）と拡大したことに支えられ、全体は同+1.7%（同+2.4%）と増加した。

加工金属は、自動車需要に支えられ前月比+0.2%（10月同▲1.7%）と小幅増加した。変動の大きい輸送機器は、前月比+8.4%（同▲3.5%）とプラスに転じた。輸送機器の主要な構成項目である自動車・同部品は、販売の堅調を背景に、同+3.3%（同+2.4%）と増加幅を拡大した。また、国防航空機・同部品は同+10.1%（同▲28.4%）と増加に転じた。さらに、非国防航空機・同部品は燃費効率の高い航空機への世界的な需要拡大を背景に同+21.8%（同▲5.3%）と大幅な増加となった。

一般機械は、変動の大きい鉱業機器が減少した可能性があるものの、半導体出荷が高い伸びとなっている半導体製造装置のほか、建設需要の好調な建設機器関連などが増加したとみられ、前月比+3.8%（同+1.0%）と加速した。

以上